



日本共産党

西宮市議会議員

2022年2月

得意のフットワークで要求実現

No.193

まつお 正秀のかわら版

自宅 能登町 12 - 58 - 412 能登レックスマンション Tel・Fax73 - 0775

携帯 090 - 6960 - 4570 議員団控え室 Tel35 - 3368 Fax22 - 7815

西宮議員団ホームページ (まつおの活動紹介あり) <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>

ブログはアメーバブログで「まつお正秀の雑記帳」です

石井市長の今任期最後となる3月議会

終了直後には市長・市議補選、7月参院選も

議会は市長今任期最後

1月初旬から新型コロナウイルスの急激な感染が続いています。そのうち2月15日から始まった3月議会。新年度に臨む市長の施政方針表明、それに対する各会派の代表質問。さらに一般質問や新年度予算案の審査も行われます。石井市長の今任期の4年が終了することから、直後には市長選挙と2名の欠員がある市議補欠選挙が行われます。

全体は「骨格」でコロナ対応急務の予算案

市長選挙の結果によっては予算の方向性が変わる可能性もあることから、予算案は骨格予算として提案されています。3回目ワクチンの実施時期や

発熱外来がパンク状態など、国の対応に自治体の不満がくすぶる中、保健所やワクチンを担当している部署に加え、10歳台や10歳未満に感染が広がる中で学級閉鎖が相次ぐ教育委員会などの現場でも悲鳴が。さらに、こうした部署に違う部署からの応援体制も。こうした中で、議会としても当局から議会対応での負担軽減要請があり、質問時間を通常の3分の2に減らすことで合意。

また、コロナ禍の影響は市税収入減などに及ぶ恐れがあることから、すでに

コロナ禍の影響は



市税収入減などに及ぶ恐れがあることから、すでに

大型の公共事業(10億円以上の11事業)については一旦凍結して対応を検討することになってい

ます。例えば建て替え予定の中央体育館は、プロバスケットボールチーム西宮ストークスの神戸への本拠地移転が確実となったことから、党議員団が元々求めてきた規模縮小なども検討される予定です。

選挙は3月20日告示で27日投開票

議会は3月18日に終了予定ですが、直後の20日から市長選挙と市議補欠選挙が始まり27日に投開票となります。

さらに7月には、半数が改選となる参議院選挙も行われる予定です。

※1月長は休みしました

困った時は日本共産党 上記まつお迄 活動報告は上記の議員団ホームページから
まつおの議会質問詳細 (答弁含む) 等は西宮市役所ホームページの「市議会会議録」検索で

市長・市議補選は投票用紙が今回から記号式に

昨年1月議会では、今年3月に行われる西宮市長選・市議補欠選挙から、投票用紙に候補者氏名を書くのではなく候補者名の上にある空白枠に○印を記入する議案が提案されました。書き間違いが少なくなるなどが理由ですが、立候補の届け出者が決まってからでないため期日前投票には適用できず、立候補者が多くなる通常の市議選では行えません。すでに通常選挙と時期が違う首長選挙などだけ実施する自治体はありますが、通常の議員選挙は記名式というのには市民に分かりづらく、開票も期日前投票の記名式と記号式との2種類に分けて行う事などから事務が煩雑となり、ここ15年間で導入した自治体の2割がやめている実態があります。今回、党議員団や2人の無所属議員はこうした問題を指摘し反対しましたが賛成多数で可決され、この3月の選挙から実施することとなりました。

健康あれこれ 117回 就寝時間

普段午後10時過ぎに就寝する人は、他の時間帯に寝る人より、心臓や循環器の疾患を発症するリスクが低い可能性のあることを、イギリスのエクスター大学などの研究チームが発表しました。チームは2013年から2015年にかけて、英国内の43歳から79歳の男女約8万8000人を対象に手首に装置を装着して就寝時間のデータを取集し、その後6年間にわたって健康状態を調査した結果なのだから。午前0時以降に寝る人は発症リスクが最も高く、午後10時台の人よりリスクが25%高くなり、午後10時より早く寝る人は24%、午後11時台に寝る人は12%高くなったそうで、可能であれば午後10時台に寝た方がいいようです。

食べ物豆知識 179回 ひじき

カルシウムが牛乳の12倍、食物繊維はごぼうの7倍、マグネシウムがアーモンドの2倍など、驚くべきひじきの栄養成分。国内で流通しているひじきは乾燥させて水で戻して使うものが多いと思いますし、産地も韓国や中国産が多いのですが、国産の生ひじきは柔らかくて風味がおいしいです。ひじきの主な産地は房総半島、伊勢志摩、紀伊半島、四国、九州地区ですが、海産物などの直売所で生ひじきを売っている場合がありますので、旅行などに行かれた時はぜひ探してみてください。

まつお正秀の「ラム

2億8000万枚発注し466億円かかったといわれるアベノマスク。約3割が残ってその保管費用がこれまで6億円。不良品があったことからその検品に20億円。残ったものは希望があれば無料で送るそうですが、その配送料は10億円で廃棄をすれば8000万円で済むのだとか。この残ったマスクについて「提案型野党」を自称する維新の会議員が国会で提案したのが産着（うぶぎ）。産着にするにしてもマスクをほどこいて縫い合わせるのには誰がするのか？その手間や費用は誰が負担するのか？カイワレ大根の栽培にも使えるそうですが、そんな助け舟を出して自公政権を支えようとする維新の会の本性が現れた質問でした。「文書交通滞在費1日で100万円」を指摘して注目された維新の会。河井案里議員の買収に使われた1億5000万円の8割は政党助成金でした。この廃止には口をつぐむ「維新」の本質を広く知らせなければいけません。